

## ▼CNCP からのメッセージ

# 来年度からの CNCP の体制と活動の方針

シビル NPO 連携プラットフォーム 常務理事/事務局長/土木学会連携部門長  
土木学会/シビル NPO 推進小委員会 委員長  
メトロ設計(株) 取締役

田中 努



CNCP の会員とサポーターの皆さま。2/24 の令和2年度第2回理事会で、「令和3年度の新しい体制と活動の方針」が承認されました。その概要をお知らせします。

### ■はじめに

CNCP は、設立以来、中間支援組織としての活動のあり方を常に模索しつつ、現在は「土木と市民社会をつなぐ」ことをキーワードとして、事業を組み立てています。

一方、運営体制は当初の枠組からほとんど変わりにくく継続してきましたが、活動の活性化のために世代交代も必要です。さらに新たにコロナに対応したテレワークや IT 活用など本格的な情報ツールの導入のためにも、若手メンバーの参画が必須となってきました。このような社会情勢の変化に合わせて、必然的に CNCP のミッションも見直しを図っていく必要があります。

令和2年度の活動は、これまでの事業の継続と合わせて、次なる体制の構築を加速し、可能なものから実施していきますが、具体的な事項については、大きな枠組みについて理事会の審議をお願いしつつ遺漏なく進めていきます。

### ■新たな運営体制の方針

経営会議のメンバーで、副代表のお二人と、常務理事のお一人が退かれます。後任には、コロナ禍で IT の活用が加速され、SNS 等による双方向コミュニケーションツールや、ウェビナーによる遠方や時間の無い方々の参加が大幅に増加する実態などを踏まえ、新たな中間支援組織としての活動スタイルを目指し、次のような人選を考えています。

表1：世代交代を期に新たな理事

交代理事	人選方針
副代表理事 (2名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>理事・法人会員や CNCP 外の NPO 法人の代表・副代表など、市民活動や社会的課題に取り組んできた方を想定。</li> <li>任期2年で1年ラップ。</li> </ul>
常務理事 (1名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>IT 担当等、土木屋以外の方を想定。</li> </ul>

今回の世代交代で、設立準備から CNCP の運営に関わってきた先輩たちがほぼ抜けてしまいましたが、継続される理事の方々を含め、CNCP の経営に、今後ご助言やご支援を頂きたいと考えています。

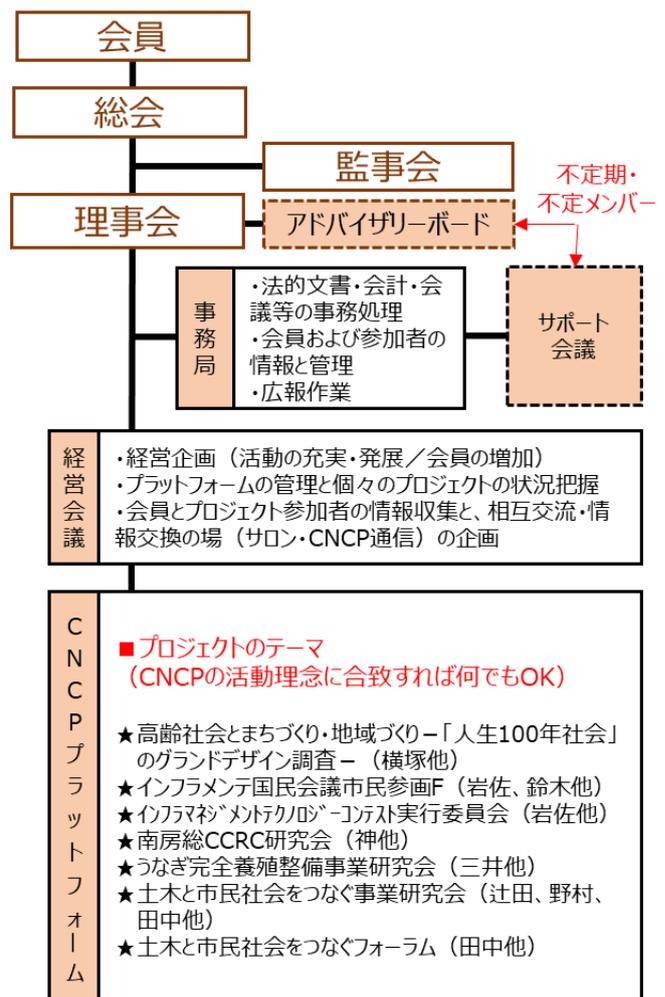


図1：新たな組織体制

そこで表2のように2つの組織を設けます。1つは「アドバイザリーボード」。理事会の下に設け、必要に応じて開催し、課題に合わせた関係有識者を、理事会やCNCPの内外からお招きして、ご助言やご支援をいただきたいと思ひます。もう1つは「サポート会議」。事務局レベルでも、必要に応じて議論し、ご助言とご支援をいただくために、同様に会議の場を設置します。いずれの組織も、開催時期・メンバーとも不定です。

表2：新たに設ける運営組織

組織／メンバー	目的・役割
<b>アドバイザリーボード</b> ・副代表理事・常務理事 ・CNCP内外の有識者	●CNCPの経営課題に関する議論・助言 ・副代表理事の要請に基づき、CNCPの経営課題等について議論し、助言をいただく。
<b>サポート会議</b> ・事務局長・事務局員 ・CNCP内外の有識者	●情報・意見の交換 ・事務局長の要請に基づき、CNCP事務局の活動等について議論をする。

■新たな活動の方針「プラットフォーム事業」

従来は、常務理事の4人の部門長が、経営会議でCNCP全体の運営について議論・検討しつつ、各担当部門内に研究会や委員会を起こして、そのプロジェクト活動をリード・調整してきました。

来年度から当面（3年程度）、活動する「場」として、全部門を1つの「プラットフォーム」にまとめ、事業として、支援をしながら、その上でそれぞれのプロジェクトに自立的な活動をしていただきます。これにより、CNCP内外から新たな多様な自発的なプロジェクトを招き易くなることを狙っています。

現時点でのプロジェクトは、下記の7つですが、新たなプロジェクトをCNCP内外から増やして、10テーマくらいにしたいと考えています。

- ・高齢社会とまちづくり・地域づくりー「人生100年社会」のグランドデザイン調査ー
- ・インフラメンテ国民会議市民参画F
- ・インフラマネジメントテクノロジーコンテスト実行委員会
- ・南房総CCRC研究会
- ・うなぎ完全養殖整備事業研究会
- ・土木と市民社会をつなぐ事業研究会
- ・土木と市民社会をつなぐフォーラム

「プラットフォーム上のプロジェクト」は、その活動の目的が、土木に関わる社会的課題の解決を目指すものであれば、CNCP内外のNPO（法人・任意団体共）・大学・企業・個人を問わず、その活動を支援し、それらの目標達成の可能性を高めることを目指します。

図2のイメージで、CNCPは、中間支援組織として、自ら、直接、活動するのではなく、頑張る団体・個人を支援します。

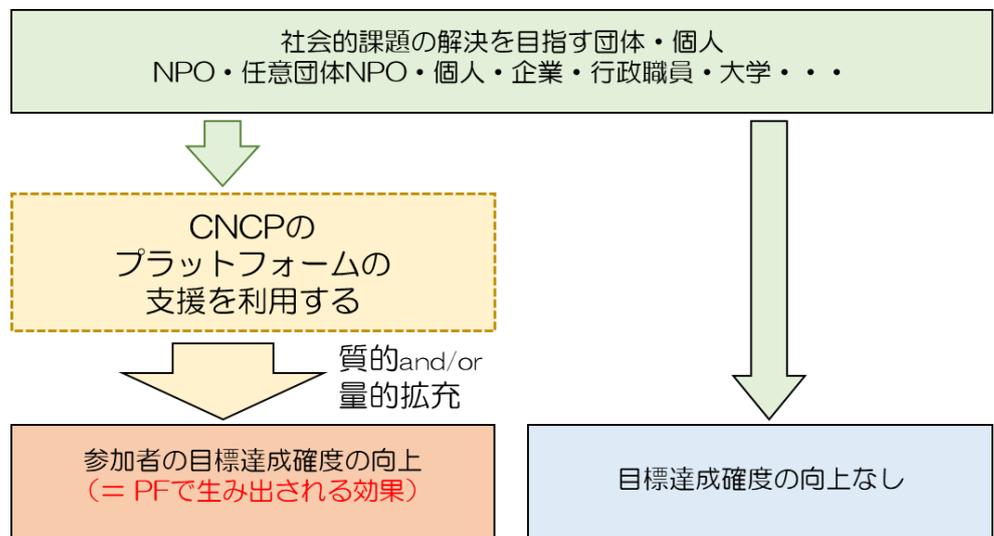


図2：CNCPが提供するプラットフォームを利用する価値

支援内容は、現在、表3の内容を考えていますが、必要に応じて追加・変更していきます。将来は、懸案のファンドを創設して融資も行いたいと考えています。

表3：CNCPのプラットフォームで提供する支援

提供する支援の種類	支援の内容・利点
・中立で半公的な集まれる「場」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学協会や一企業では、実施しにくい内容・メンバーの研究会等を行う「場」として利用しやすい。</li> <li>・例えば、あるエリアの再開発などの将来ビジョンを、様々な利害関係者が集めて自由に議論するインフォーマルなワークショップ等。</li> </ul>
・法人格の組織の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人格のない団体・グループが公的な支援を受けたい場合に、CNCPの一組織として、利用可能になる。</li> <li>・法人格のない団体・グループが、団体名の銀行口座を開いて資金管理をしたい場合に、CNCPの一組織として、利用可能になる。</li> </ul>
・人的ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CNCP会員の人的ネットワークや土木学会の委員会との連携窓口を利用できる。</li> </ul>
・コミュニケーションツール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CNCPから情報の発信（CNCP通信/HP・Facebook等のSNS）を利用できる。</li> </ul>
・経営資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CNCPの会員・サポーター・事務局等の人的支援を受けられる。</li> <li>・リアル会議室・WEB会議室等の物的支援を受けられる。</li> <li>・活動資金の貸し付けが受けられる。（活動資金は、プロジェクト独自の資金で賄うのが原則）</li> </ul>
・NPO運営のノウハウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPOのスタートアップの支援が受けられる。</li> <li>・NPOのブラッシュアップの支援が受けられる。</li> </ul>

## ■今後の取り組みの方針

このような新しい体制で新しい活動に取り組み始め、来年度から3年間で、次のような状態にしたいと考えています。。

- ①新しい運営体制での活動を、軌道に乗せる。
- ②プラットフォーム上のプロジェクトの活動を定常化させる。
  - ・既往の部門活動（7件）を、プロジェクトとして推進する。
  - ・CNCP内外から、新たなプロジェクトを3件加える。
- ③会員の増加
  - ・CNCPの会員を100名（現在75名）に増やす。
  - ・CNCPの活動に参加する友達・仲間（サポーターとフレンズ等）を200名（現在143名）に増やす。

また、直近、今年度下期の取り組みとして、次を考えており、これから具体化していきます。

- ①後任の新しい「副代表理事・常務理事」の人選・依頼
- ②定款変更と諸規程の整備（新体制・プラットフォーム事業等の関連）
- ③ホームページ・Facebook・SNS、WEB会議・ウェビナーの活用の検討
- ④会員の参加メリットの見直し
- ⑤会員を増加させる方法の検討

CNCPの会員とサポーターの皆さまのご提案・ご支援をお待ちしています。

より一層、会員と社会が望むCNCPにしていくために、一緒に活動してくださる方を求めています。「やってもいいよ」と思う方は、是非、ご一報を！